

## 序文

山鹿市には、太古の昔から人々が生活し、その足跡は文化財という形で今日生きている私たちに受け継がれています。

邪馬台国と同時代に栄えた大集落跡である方保田東原遺跡。全国的にも著名なチブサン古墳をはじめとする装飾古墳群。東アジアにおける日本存亡の危機の中、大和朝廷が築いた古代山城鞠智城。戦国時代末期、秀吉が任命した肥後国主の佐々成政に戦いを挑んだ「肥後国衆一揆」に関する中世城など（隈部氏館跡）。江戸から明治、街道と菊池川の交点として栄えた豊前街道筋の町並み。そして、平成二十三年一月に開業百周年を迎えた明治の芝居小屋八千代座。これらをはじめとして、現在の本市にはたくさん文化財が残されています。

平成二十二年度に、本市の指定・登録文化財を写真と解説文で紹介する冊子の改訂版を作成しました。しかしながら、その後指定・登録文化財の数に変化があったため、今回第二版を刊行することとなりました。本書を通じて、山鹿市の歴史への関心と興味を深めていただくとともに、各地に残されている文化財を郷土の誇りととらえ、これらを守り、活かし、次の世代へつなげる契機となれば幸いです。

なお、作成に当たりましては、山鹿市文化財保護委員、文化財協力員ほか多数の方々にご協力いただきました。関係者全ての方に、深く御礼申し上げます。

令和六年三月

山鹿市教育委員会

教育長 堀田 浩一郎



## 例言

一 本書は、山鹿市内の指定文化財及び登録文化財を紹介する冊子です。

二 本書には、令和六年三月現在の指定・登録文化財（国指定一一件、国登録三件、県指定一九件、市指定一六〇件）を掲載しています。

三 掲載の順番は、国、県、市指定の順とし、その中で、建造物、絵画、彫刻、工芸品、古文書、考古資料、無形文化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物の順としました。なお、同一種別では、指定年月日順としました。

四 各文化財の見出しには、名称、指定区分及び種別、所在地、地図番号を記しました。

五 各文化財の解説は、山鹿市文化財保護委員と山鹿市文化財協力委員、事務局（山鹿市教育委員会文化課）が執筆し、文化課が編集しました。なお、委員氏名は下記のとおりであり、解説文末には担当の執筆者を記しました。

六 掲載した写真は、山鹿市教育委員会文化課が保管する資料のほか、執筆者、一部関係機関から借用しました。ご協力に感謝申し上げます。

### 執筆者・確認者

山鹿市文化財保護委員

竹下輝幸

中満晨子

多田隈亮典  
森山良雄

古家修  
芹川一誠

前田軍治  
西村亮一  
平井祥一郎

菊川一誠

山鹿市文化財協力員  
池上和男  
前川英利  
古賀寛了  
橋本盛夫  
五嶋竜山  
森本義文  
青木英二  
緒方昭弘  
宮崎勇  
児玉徳夫  
田中和平  
高木恵伸  
飯田苴  
轟木正斗  
石本邦昭  
中原公敏  
江藤文彦  
福本義文  
高巢賢史  
大墨通夫  
姫井豊光  
(敬称略)

### 協力者

各指定文化財所有者及び管理者

熊本県教育委員会

浦邊虎勝

安武幸孝

熊本県立美術館

原口カメヲ

大宮神社  
山鹿市商工会

(敬称略)

### 編集

山鹿市教育委員会



## 目次

### ●国指定

八千代座	10
方保田東原遺跡出土品	12
チフサン・オフサン古墳	14
鍋田横穴群	16
弁慶ヶ穴古墳	18
方保田東原遺跡	20
岩原古墳群	22
鞠智城跡	24
隈部氏館跡	26
相良のアイフトビカスラ	28
菊池川チスジノリ発生地	29
●国登録	
山鹿灯笼民芸館	30
吉岡家住宅	31
大森家住宅	32
●県指定	
湯町橋	33
川西の宝篋印塔	34
笠忠平の宝塔	35
木造地藏菩薩立像	36
木造千手観音立像及び二十八部衆	37

白山宮の鯉口	38
「古事記伝」写本	39
凡導寺の経筒	40
臼塚石人	41
方保田東原遺跡出土品	42
長岩横穴群	43
城横穴群	44
馬塚古墳	45
桜の上横穴群	46
持松塚原古墳	47
付城横穴群	48
津袋古墳群	49
御霊塚古墳	50
岩原横穴群	51
●市指定	
■建造物	
重盛の供養塔	52
霜野のだんとうさん如法経塔群	52
霜野の六地藏	53
姫井の六地藏	53
堂米野の六地藏	54
広の六地藏	54
宮前の六地藏	55
藤井八幡宮の如法経塔	55

法華寺の石塔々身	56
有福寺跡の五輪塔	56
福原の角卒塔婆	57
東野のだんとうさん塔石群	57
須屋の宝篋印塔	58
宮迫の板碑	58
七浦の五輪塔	59
慶春待ちの碑	59
慶春の碑	60
鏡観坊の宝篋印塔	60
下中の六地藏	61
迫浦の宝篋印塔	61
法泉寺の地藏尊	62
田中橋	62
高井川橋	63
女田橋	63
須屋の五輪塔	64
素覚尼五輪塔	64
石体観音三十三基	65
伝宇野親治五輪塔群	65
方保田の板碑	66
金剛乘寺石門	66
小坂の六地藏	67
善吉の塔	67

多久太郎衛門の墓	68
泉福寺跡古碑古塔群	68
洞口橋	69
高橋の一字一石修碑	69
八千代座付属施設	70
湯山橋	70
島田の鳥居を担う天部形仏神	71
内野の六地藏幢及び初期の龕部	71
石工仁平墓碑	72
弁天橋	72
勝負瀬橋	73
水天宮一号橋	73
水天宮二号橋	74
上麻生橋	74
丸山橋	75
板曲橋	75
平山橋の輪石	76
大坪橋	76
■絵画	
大宮神社の三十六歌仙の絵馬	77
鍋田八幡宮三十六歌仙の絵	77
■彫刻	
霊仙寺跡釈迦如来坐像	78
上保多田観世音菩薩坐像	78

凡導寺跡善光寺式一光三尊立像	79
千福寺跡千手観音立像	79
坂東寺跡聖観音坐像	80
下梶屋八竜宮の竜	80
泉福寺跡毘沙門天像及び聖歡喜天像	81
菊池武光陣中矢除守本尊不動明王	81
相良寺千手観音像	82
清潭寺十六羅漢	82
■工芸	
日輪寺梵鐘	83
緒方家工芸品	83
相良寺鰐口	84
光厳寺海獣葡萄鏡	84
光敬寺菊池千本槍	85
中川八幡宮鳥居の透かしを持つ懸け鏡	85
清潭寺隈部親永木像及び位牌	86
■古文書	
大光寺文書	86
御宇田氏家系図	87
山鹿湯町絵図	87
鹿郡旧語伝記	88
前田学校教科書	88
日輪寺制札	89
清潭寺隈部親永初登山教訓書	89

光厳寺隈部親永出陣の書	90
光厳寺隈部物語	90
原口家碎玉談	91
緒方家文書	91
清潭寺隈部親永書状	92
西得寺文書	92
多田隈家文書	93
■考古資料	
鹿本商工高校出土銅矛	93
方保田古墳石室	94
柿原出土尖頭器	94
椎持南出土尖頭器・両刃礫器	95
■無形文化財	
鹿北茶山唄	96
■有形民俗文化財	
大宮神社猿田彦石碑群	96
日輪寺芭蕉碑	97
来民団扇製作工具一式	97
■無形民俗文化財	
宗方万行	98
小坂雨乞い踊り	98
なれなれなすび踊り	99
山鹿灯籠	99
犬子ひょうたん	100

川北雨乞い踊り	100
■史跡	
白塚古墳	101
竜王山古墳	101
赤穂義士遺髪塔	102
中村廃寺心礎	102
御宇田氏墓所	103
駄の原金石古墳	103
康平寺	104
長福寺	104
下米野横穴群	105
鬼塚古墳	105
双塚古墳	106
下原古墳	106
元広の豊前街道里数木跡	107
島巳兮の墓	107
千田八島	108
西福寺磨崖仏	108
中川双子塚	109
亀塚古墳	109
端山塚古墳	110
円通寺口の岩地蔵	110
北山円心の塔	111
御宇田五山跡	111

小西行長供養塔	112
下高橋の御高札場跡	112
堤古墳	113
芹ヶ迫古墳	113
浦大間古墳群	114
庄林隼人自休居士荼毘塚	114
清潭寺の隈部家墓地	115
湯の口溜池附遠山神社	115
城村城跡	116
平山城跡	116
西付城跡	117
黄金塚古墳	117
芋生摂津守四代目の墓	118
妙見遺跡	118
中尾古墳	119
久野古墳	119
早馬塚古墳	120
霜野城跡	120
建立寺跡	121
■名勝	
不動岩	121
■天然記念物	
来民の大イチョウ	122
日吉宮のクスノキ	122

日輪寺のラカンマキ	123
湯の端のエノキ	123
南島菅原神社のクスノキ	124
松尾神社の樹木群	124
田淵のイチイガシ	125
田中のクロガネモチ	125
本多久のムク	126
宮地岳のスギ	126
荒平天満宮の樹木群	127
枝川内のフジ	127
茂田井神社の樹木群	128
市木八幡宮の樹木群	128
中津川のモミジ	129
岩野神社の樹木群	129
久老のタブノキ	130
川原谷の山神のウラジロカシ	130
善行寺のマキ	131
東野のオオバヤナギ	131
千田聖母八幡宮のギンモクセイ	132
指定文化財一覧表	
指定文化財分布地図	
索引(五十音順)	
索引(テーマ別)	
主な参考文献	